

## 令和5年度第1回千葉県図書館協議会 次第

日 時 令和5年7月13日（木）  
午後2時から

場 所 千葉県立西部図書館 研修室

### 1 開 会

### 2 議長あいさつ

### 3 議 事

(1) 令和4年度千葉県立図書館事業報告について（報告）

(2) 千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）の実施状況について（報告）

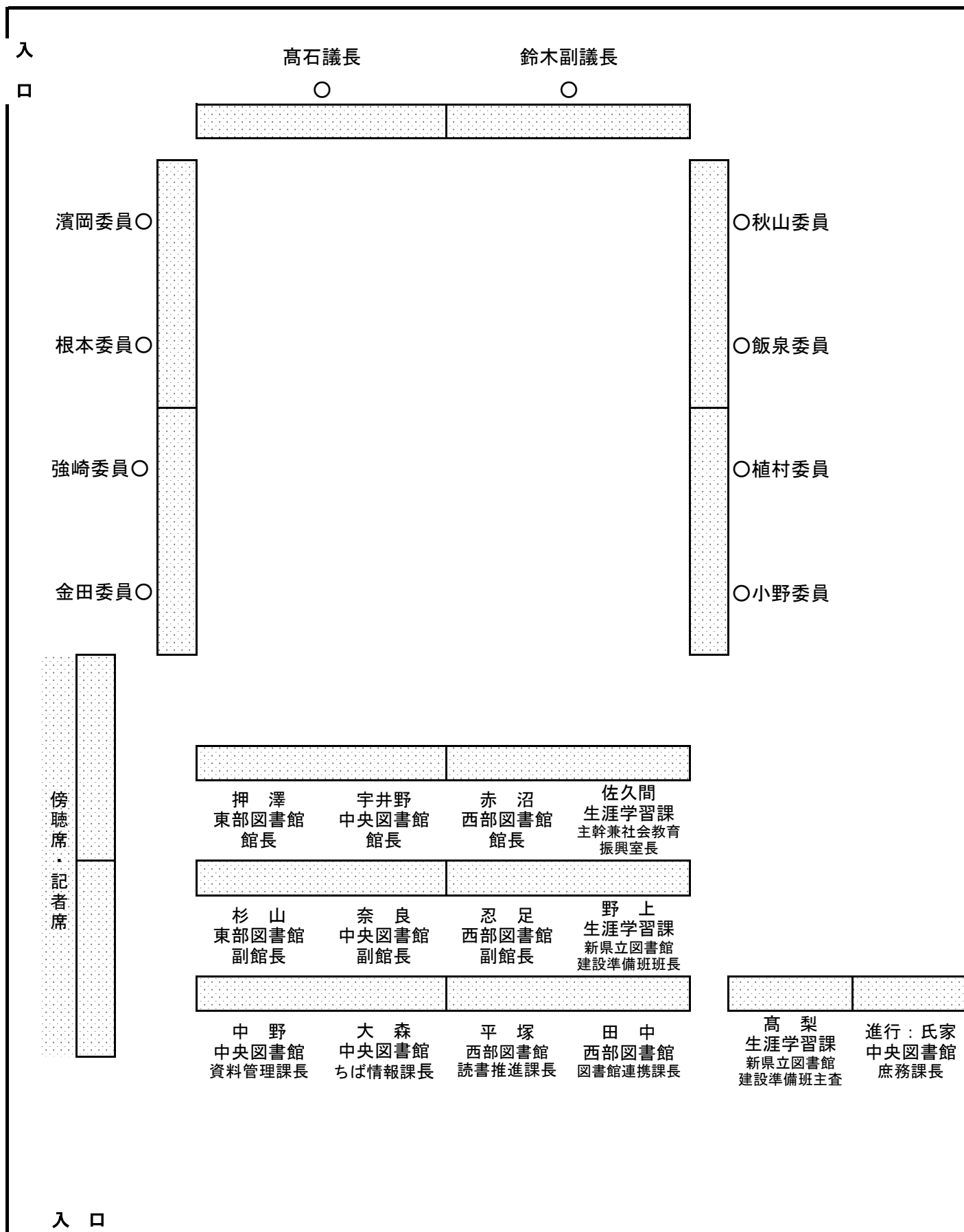
(3) 次期千葉県立図書館行動計画（素案）について（協議）

(4) その他

### 4 その他

### 5 閉 会

令和5年度第1回千葉県図書館協議会 座席表



## 千葉県図書館協議会委員名簿（第36期）

任期 令和3年7月22日～令和5年7月21日

No.	氏 名	所 属 等
1	あきやま みなこ 秋山 美奈子	千葉県特別支援学校PTA連合会会長
2	いいいずみ みゆき 飯泉 みゆき	君津市周南公民館副館長 (君津市公民館連絡会副会長)
3	うえむら やしお 植村 八潮	専修大学文学部教授
4	おの ひみこ 小野 日実子	四街道市立図書館長 (千葉県公共図書館協会監査役)
5	かねだ かずゆき 金田 一幸	千葉県立佐倉南高等学校校長 (千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会副会長)
6	こうざき あやこ 強崎 章子	千葉県PTA連絡協議会副会長
7	すずき ひろこ 鈴木 宏子	千葉大学附属図書館利用支援企画課長
⑧	たかいし たかし 高石 卓	千葉信用金庫理事 (元千葉県立中央図書館館長)
9	ねもと あきら 根本 彰	東京大学名誉教授
10	はまおか まき 濱岡 真紀	東金市立鴛嶺小学校教諭 (千葉県教育研究会学校図書館教育部会事務局長)

所属：令和3年7月22日現在【敬称略五十音順】

○：議長

## ○千葉県図書館協議会関係条例・規則

### 教育機関設置条例（抜粋）（昭和三十二年四月一日条例第四号）

（図書館協議会）

第五条 図書館に図書館協議会を置く。

2 図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

3 前項の委員の定数は、十人以内とする。

4 第二項の委員の任期は二年とし、欠員の生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前三項に定めるもののほか、図書館協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、千葉県教育委員会が定める。

### 図書館協議会会議運営規則（昭和三十六年八月三十一日教育委員会規則第十号）

第一条 図書館協議会会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副議長一人を置くものとする。

第二条 議長及び副議長の任期は二年とする。

第三条 議長は会議を主宰する。

第四条 副議長は、議長を助け、議長に事故あるときは、その職務を行う。

第五条 会議は、議長が招集する。

第六条 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

2 会議の議決は、出席者の過半数で決める。

第七条 会議開催の場所及び日時は、会議に付議すべき事件とともに、議長が、あらかじめこれを通知しなければならない。

第八条 招集は、開会の日前、七日までに、これを通知しなければならない。ただし、急を要する場合はこの限りでない。

第九条 会議は、定例会及び臨時会とする。

第十条 定例会は、年三回以上これを招集しなければならない。

第十一条 臨時会は、必要がある場合においてその事件に限りこれを招集する。

第十二条 会議招集の通知後に急を要する事件があるときは、第七条の規定にかかわらず、直ちに、これを会議に付議することができる。

第十三条 関係職員は、会議に出席して意見をのべることができる。

第十四条 この規定に定めるもののほか、会議に必要な事項は別にこれを定める。

第十五条 会議に関する庶務は千葉県立中央図書館で行う。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和六十二年四月一日教育委員会規則第二号）

この規則は、公布の日から施行する。

令和5年度千葉県立図書館各館長等一覧

中央図書館	西部図書館	東部図書館
館長 宇井野 哲男 ウイノ テツオ	館長 赤沼 知里 アカヌマ テサト	館長 押澤 裕子 オシザワ ヒロコ
副館長 奈良伸一郎 ナラ シンイチロウ	副館長 資料管理課長 事務取扱 忍 足 哲也 オシダリ テツヤ	副館長 資料管理課長 事務取扱 杉山 裕子 スギヤマ ユウコ
庶務課長 氏家 麻奈 ウジイ マナ	庶務課長 松井 真一 マツイ シンイチ	庶務課長 香取 雅昭 カトリ マサアキ
読書推進課長 中田 江美 ナカダ エミ	読書推進課長 平塚 明子 ヒラツカ アキコ	読書推進課長 若本 朋子 ワカモト トモコ
資料管理課長 中野 晶子 ナカノ アキコ	資料管理課長	資料管理課長
ちば情報課長 大森 明香 オオモリ サヤカ		
図書館連携課長 伊藤 孝 イトウ タカシ	図書館連携課長 田中 雅美 タナカ マサミ	図書館連携課長 伊藤 健司 イトウ ケンジ

# (1) 令和4年度千葉県立図書館事業報告について

## 【概況】

千葉県立図書館運営方針に基づき、3館の密接な連携により、市町村立図書館等への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修、高等学校・大学及び類縁機関等との連携など幅広い図書館活動を行った。

事業実施にあたっては、「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき感染症対策を講じて行った。

## 図書館事業概要

項目		館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
資料整備	資料総数	受入冊数	8,294 冊	4,650 冊	3,127 冊	16,071 冊
		(内購入冊数)	(4,997 冊)	(3,955冊)	(2,706 冊)	(11,658 冊)
		図書購入費	19,991 千円	20,586 千円	11,613千円	52,190 千円
	蔵書数		868,953 冊	295,127 冊	296,399 冊	1,460,479 冊
	新聞・雑誌・法規集	74紙・3,802誌・3種	37紙・534誌・0種	22紙・248誌・0種	133紙・4,584誌・3種	
サービス業務	利用状況	入館者数	44,467 人	88,426 人	116,153 人	249,046 人
		登録者数	13,654 人	14,176 人	7,351 人	35,181 人
		個人貸出	51,843 冊	45,740 冊	19,066 冊	116,649 冊
	資料複製サービス		75,763 枚	23,652 枚	6,279 枚	105,694 枚
	参考調査 照会・質問		6,109 件	3,164 件	5,415 件	14,688 件
協賛	県立図書館蔵書貸出冊数		40,828 冊	17,919 冊	29,926 冊	88,673 冊
	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数		50,357 冊	39,897 冊	15,253 冊	105,507 冊
県内人口(令和5年4月1日)						6,269,572 人

《備考》 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

## 【業務内容】

### 第1 県内図書館の中核としての役割

#### 1 市町村の読書環境充実のための支援

##### (1) 資料搬送ネットワークの維持・改善(図書館協力業務)

「読書県ちば」を目指し、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、相互貸借資料の搬送や運営相談、協力レファレンス等の援助を行った。また、高等学校・大学及び類縁機関等と連携し、読書活動の充実に努めた。

##### ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。

##### イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立図書館3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対して週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送した。

##### ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、データベースや図書館資料を使って支援を行った。

##### エ 高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等との連携

県内の高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等の調査・相談等に対し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行った。

##### オ 図書館未設置市町村支援

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、教科書単元・テーマ別資料リストの周知、運営相談等の支援を行った。

なお、小・中学校教科指導で使える資料リスト（「千葉県の民話」「千葉県にゆかりのある人物」）について、自治体の小・中学校等への周知を依頼するなど広報活動をしたこともあり、小・中学校からは824冊の依頼があった。

#### カ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力業務の確認や情報交換を行い、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催した。

- ・中央図書館（市町村立図書館相互協力担当者会議 4月27日（水）25人出席）
- ・西部図書館（管内市立図書館相互協力担当者会議 5月19日（木）16人出席）  
参加者の密を避けるため1自治体からの出席者を1名に制限して開催
- ・東部図書館（市町立図書館等相互協力担当者会議 5月27日（金）14人出席）

#### キ その他

県立図書館ホームページの「図書館員のページ」に、研修の内容や資料をその都度掲載し、不参加であっても研修内容等を確認できるようにした。

### （2）図書館等運営相談

全市町村を訪問し、各図書館の課題等について運営相談を行った。図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付けるとともに、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じた。

- ・中央図書館（電話やメールでの相談：89回、奉仕対象30市町村へ延べ38回の訪問運営相談を実施した。※年1回、ただし希望のあった館については2回。）
- ・西部図書館（電話やメールでの相談：21回、11市の中心館に対し各1回の訪問運営相談を実施した。）
- ・東部図書館（電話やメールでの相談：36回、13市町の図書館及び公民館図書室等18施設に対し、延べ35回の訪問運営相談を実施した。）

### （3）その他

#### ア 新聞・雑誌総合目録の整備

千葉県公共図書館協会加盟の市町村立図書館等や、文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやからば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を更新してホームページ上で公開した。

#### イ 読書活動支援

県内の読書活動を推進するため、市町村立図書館等と連携し、読書グループ関係団体への支援協力を行った。また、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会の開催を支援した。さらに、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫を12タイトル整備した（総タイトル数725）。

#### ウ 資料の巡回展示〈東部〉

東部図書館で実施した資料展示の資料を中心に、希望するテーマの資料を一括して市町村立図書館、公民館図書室、学校図書館等に貸出し、資料展示をしてもらう巡回展示を、8施設に20回実施した。

## 2 図書館職員の研修センター

### （1）県立図書館職員の資質向上

県立図書館職員の資質向上を目的に館内研修を計画的に実施するとともに、国立教育政策研究所主催の図書館司書専門講座を始めとした外部研修会等への職員派遣を積極的に行った。

### （2）市町村立図書館等職員の資質向上

市町村立図書館等職員の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた(延べ 21回開催、744人参加)。各研修時のアンケート結果を分析し、課題を集約した。また、運営支援の一環として、全ての県内図書館等読書施設の職員が図書館サービス向上のための研修を受けられるよう、千葉県公共図書館協会と連携した研修プログラムの開発に積極的に取り組んでいる。

令和4年度は感染拡大防止策を講じた上で研修会を開催した。一部の研修ではオンライン等による遠隔開催や分散開催、動画の後日配信を実施した。

### 【3館共催】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月11日(水)	公共図書館の役割と利用サービス、公共図書館における障害者サービス、県内図書館の概要と図書館ネットワーク、公共図書館のレファレンスサービス、公共図書館の児童サービス 講師 当館職員 会場 県文化会館 西部図書館 東部図書館 ※オンラインによる同時開催・後日配信あり	122人 (本会場27人、西部会場12人、東部会場13人、オンライン28人、動画視聴42人)

### 【中央図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館中堅職員研修会	9月28日(水)	地域資料のデジタルアーカイブ戦略 講師 小平市中央図書館 蛭田廣一氏 会場 県文化会館 ※オンラインによる同時開催・後日配信あり	69人
図書館長研究協議会	10月28日(金)	図書館公衆送信サービスの検討状況と図書館の対応について 講師 日本図書館協会常務理事兼総務部長 岡部幸祐氏 地方公共団体において読書バリアフリー計画を策定するためのガイドラインについて 講師 西部図書館職員 新県立図書館等複合施設整備事業について 報告者 生涯学習課職員 ※オンライン開催 (Zoom・YouTube併用)	58人
児童サービス基礎研修会 全5回	6月9日(木) 6月24日(金) 7月1日(金) 9月6日(火) 午前 午後	第1回 児童奉仕概論 講師 佐倉市立佐倉図書館 小廣早苗氏 ※オンライン開催 第2回 絵本・物語について 講師 浦安市立中央図書館 相馬幸代氏 会場 県文化会館 第3回 おはなし会の運営について 講師 当館職員 ノンフィクションの選書について 講師 山武市成東図書館 豊山希巳江氏 会場 県文化会館 第4回 レファレンスサービスについて 講師 当館職員 ※オンライン開催 第5回 探究学習をどう支えるか 講師 清教学園中・高等学校探究科 図書館リブラリア館長 片岡則夫氏 ※オンライン開催	47人 41人 44人 46人 75人



地域行政資料研修会	11月18日(金)	地域行政資料の探し方入門 解説 菜の花ライブラリー 演習1 事前課題の解説 演習2 ひとり一問一答 講師 当館職員	18人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月17日(金) 6月23日(木) 7月6日(水)	レファレンスサービス実践の基礎 インターネットを活用した調べ方 レファレンス演習/参考図書及びインターネット情報源解題 講師 当館職員 ※分散開催：3日とも同内容で実施	41人 (20名) (12名) (9名)
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	12月16日(金)	人文分野の調べ方 講師 国立国会図書館 石川美幸氏 ※オンライン開催	20人
課題解決支援サービス研修会	11月10日(木)	法令・判例情報の探し方—法情報の基本的なリサーチと演習— 講師 中央大学図書館、大東文化大学法学部非常勤講師 鈴木敦氏	14人

【西部図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
障害者サービス研修会 全2回	7月8日(金)  7月22日(金)	第1回 障害者サービスを始めるための基礎の基礎 公共図書館の障害者サービスの理念・各サービスの紹介と具体的実施方法 障害者サービス用資料について・サピエ図書館体験 講師 当館職員 ※オンライン同時開催 第2回 眼球(視覚)使用困難症を知っていますか? 講師 井上眼科病院名誉院長 若倉雅登氏 眼球使用困難者にとっての読書事情 講師 眼球使用困難症当事者 立川くるみ氏 ※オンライン同時開催	28人 (会場2人 オンライン26人)  25人 (会場2人 オンライン23人)
課題解決支援サービス研修会	7月14日(木)  12月2日(金)	第1回 国立国会図書館を使いこなす—国立国会図書館が提供するレファレンスに役立つデータベース— 講師 国立国会図書館利用者サービス部図書館資料整備課主査 司書 嶋田潤氏 第2回 公共図書館における健康医療情報サービス 講師 慶應義塾大学文学部教授 池谷のぞみ氏 医療健康情報サービスによる図書館の可能性 講師 山武市成東図書館 豊山希巳江氏 ※オンライン同時開催	18人  29人 (会場4人 オンライン25人)

【東部図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
課題解決支援サービス研修会	10月14日(金)	レファレンス協同データベースの利活用 講師 国立国会図書館関西館 平澤大輔氏	30人 (会場7人 オンライン)

		※オンライン同時開催	ン23人)
千葉経済大学短期大学部と千葉県立東部図書館との連携研修会	2月17日(金)	インターネットを使ったレファレンス演習 講師 千葉経済大学短期大学部 教授 齊藤誠一氏	12人
学校図書館運営研修会	11月30日(水)	便利に使おう！県立図書館 講師 当館職員	7人

#### 【新型コロナウイルス感染症の影響】

##### 「研修受講者数」

感染症対策のため会場参加人数を制限して実施したが、オンライン配信やサテライト会場の設置、分散開催、動画提供などの手段を取り入れることで、令和4年度にはコロナ禍以前の人数まで回復し、研修機会の損失を防ぐことができた。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
710人	598人	490人	653人	744人

## 第2 子どもの読書活動の推進

### 1 子どもの読書活動の推進拠点

#### (1) 子どもの読書活動推進センター機能の充実

読み聞かせボランティア入門講座を白井市と南房総市で開催、読み聞かせ講座をさわやかちば県民プラザと共催で開催した。また、「千葉県子ども読書の集い」、「学校図書館・公立図書館連携研修会」に参加するなど、関係機関・団体等との連携推進を図り、子どもの読書活動推進センター機能の充実に努めた。

#### (2) 来館者サービス

資料の貸出し、子どもからの調査相談、読書相談及び児童資料・子どもの読書活動に関する大人からの調査相談のほか、定例おはなし会や冬のおはなし会等を開催した。また、「子育て支援情報コーナー」の資料や情報の充実を図った。子育てに関する新着図書案内を作成し、館内で配布した。また、生涯学習課や子育て支援課と連携し、子育てに関するパンフレット等の収集、提供を進めた。〈中央〉

#### (3) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行った。

「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努めた。〈中央〉

県立東部図書館内に開館の旭市図書館で行われる「おはなし会」の運営に協力した。〈東部〉

#### (4) 読み聞かせボランティアの養成

「読み聞かせボランティア入門講座」を開催するとともに、学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣した。〈中央〉

#### (5) 出張おはなし会

博物館等で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて、おはなし会や読み聞かせを行った。〈中央・西部〉

**(6) ヤング・アダルトサービス**

県立図書館ホームページ内のヤング・アダルトサービスのページの充実に努めたほか、ツイッターで中高生向けのおすすめ本を紹介した。〈中央〉

**(7) 障害者用資料の製作**

児童資料の点訳絵本等を製作した。〈中央〉

**(8) 子どものための多文化サービス**

日本語を母語としない子どもの読書活動支援のため、外国語によるおはなし会「世界とふれあうおはなし会」(シンハラ語・ネパール語・ダリ語・タイ語・中国語)を実施した。〈中央〉

**(9) 広報・啓発**

『子どもの読書活動推進センター通信～子どもの読書をめぐる人々をつなぐ架け橋～』の発行、「千葉県子ども読書の集い」への出展、「学校図書館・公立図書館連携研修会」での広報・事業説明を行った。〈中央〉

子ども読書の日記念展示を行った。〈中央・東部〉

**2 学校図書館への支援**

**(1) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備**

高等学校・特別支援学校向け「学校用貸出セット」について、新規・改訂10セット、203冊を整備した。(総セット数136セット、総冊数3,999冊)

県立図書館の学校支援事業を周知し、活用を促すために、学校図書館関係者や教職員の研修会等で事業説明や資料配付を行った。

**(2) 資料の貸出し・運営相談等**

県内の高等学校・特別支援学校等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行った。資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部(協力車未巡回校)〉

また、高等学校を対象に運営相談を行った。(特別支援学校については(3)に別掲)

- ・西部図書館(奉仕対象地域内の高校1校へ訪問)
- ・東部図書館(奉仕対象地域内の高校21校に延べ24回の訪問運営相談を実施)

**【中央図書館】**

ア 宅配便による資料搬送 登録校80校

奉仕対象地域内の利用未登録や、近年利用のない高校・特別支援学校へ広報活動を行った。学校用貸出セットのうち、要望の多いセットや改訂が必要なセットについて、学校側のニーズを知るため、アンケートを実施した。

イ 高等学校への講師派遣

保育等への進路を希望する生徒や図書委員会活動への支援のため、高等学校等へ絵本の読み聞かせについての講師として職員を派遣した。

(延べ8校 派遣先：柏井高、流通経済大付属柏高、市原高、千葉女子高、市原八幡高、犢橋高、松戸六実高、生浜高)

ウ 小・中学校図書館との連携・支援

小・中学校図書館には市町村立図書館等を通して資料貸出しを行った。また、学習でも使える「千葉県の民話リスト」「千葉県にゆかりのある人物リスト」について、広く活用してもらえるよう、運営相談等で広報を行った。

中学校の教科書単元・テーマ別資料リストを新たに4点作成するとともに、運営相談時に市町村読書施設等へ紹介した。

**【西部図書館】**

ア 協力車巡回による資料搬送 登録校40校

- イ 宅配（ゆうパック）による資料搬送（管内協力車未巡回校対象）登録校31校
- ウ 奉仕対象地域内の利用未登録や宅配登録の高校・特別支援学校へ、文書による事業説明、勧誘を行った。

**【東部図書館】**

- ア 協力車巡回による資料搬送 登録校21校
- イ 小・中学校図書館との連携・支援  
海匠地区指導行政連絡会議（2回開催）に出席し、県立図書館の学校支援について説明した。
- ウ 学校図書館運営研修会を実施し、学校図書館担当者の資質向上を図るとともに担当者同士の情報交換を実施した。

**（3）特別支援学校への読書支援**

希望のあった学校に対し、おはなし会や運営相談等を行った。

- ・中央図書館（奉仕対象地域内の6校に読み聞かせ等、3校に運営相談を実施）
- ・西部図書館（奉仕対象地域内の7校に読み聞かせ等、1校に運営相談を実施）
- ・東部図書館（奉仕対象地域内の2校に読み聞かせ等、6校に運営相談を実施）

また、感染症拡大防止のため訪問を中止した学校への対応について、西部図書館管内1校には、次年度の実施に向けた児童向けメッセージを送付し、東部図書館管内1校には、読み聞かせを予定していた大型絵本の貸出を行った。

**（4）ホームページでの学校向け情報発信**

「学校の先生方へ」のページについて、学校用貸出セット一覧の更新、教科書単元・テーマ別資料リスト3件の追加を行った。

**（5）探究学習についての利用支援方法の検討**

探究学習に役立つ内容の情報発信を充実させるため、下記の取組を実施した。

- ア 探究学習向けリンク集の作成  
コロナ禍をきっかけに作成した「読書や学習に役立つ子どものためのリンク集」を見直し、「としよ部っ!」のページに探究学習に役立つリンク集を作成した。
- イ 「図書館から世界（ニュース）が見える」の作成  
県民や教職員等の理解を助けるような探究学習に関連したテーマとして「GIGAスクール構想」を作成した。
- ウ 県内図書館職員向けの研修会にて関連テーマの講演を実施  
学校図書館を支える県内の市町村立図書館職員向けの事業として、児童サービス基礎研修会第5回において「探究学習をどう支えるか」をテーマとして講演会（講師 清教学園中・高等学校 探究科 図書館リブラリア館長 片岡則夫氏）を開催した。

**【新型コロナウイルス感染症の影響】**

「学校セットの貸出数」

修学旅行や文化祭等の県立学校行事が見送りとなったことや、タブレット端末やスマートフォンの普及により学校における調査学習で使う媒体としての書籍の利用が減少したことなどにより、令和4年度の学校セットの貸出数は221セットに留まった。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
302件	214件	191件	206件	221件

### 第3 課題解決支援図書館機能の充実

#### 1 調査研究に役立つ資料の収集と情報の提供

##### (1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援し、市町村立図書館等及び高等学校等への協力・援助を行うため、3館が連携・分担して収集、整備した。

なお、電子書籍については、電子出版制作・流通協議会の発表などを参考としながら、動向調査を進めた。

##### 資料整備実績

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	4,997 冊	3,955 冊	2,706 冊	11,658 冊
寄贈図書資料	3,297 冊	695 冊	421 冊	4,413 冊
千葉県関係資料	2,164 冊	377 冊	206 冊	2,747 冊
逐次刊行物 (購入)	152 タイトル	282 タイトル	190 タイトル	624 タイトル

##### (2) 資料の保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、蔵書点検（3月22日～3月30日）を行った。

##### (3) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館等の除籍資料を収集した。

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
図 書	6 冊	0 冊	23 冊	29 冊
雑 誌	12 冊	200 冊	0 冊	212 冊

##### (4) 電算業務

###### ア 業務系システム

県立図書館の電算システムは、昭和59年度から開発した独自システムを西部図書館開館時（昭和62年）に導入したのが最初である。平成8年度には同システムの改良版を中央図書館に、また、平成10年度に開館した東部図書館にも導入することにより、3館独自の電算システム運用体制が整備された。その後、平成19年から3館のシステムを統合した「千葉県立図書館統合電算システム」に移行し、中央図書館が管理・運用を行うこととした。平成24年11月、電算システムを一新（契約：NECキャピタルソリューション株式会社、開発：日本電気株式会社）し、さらに機能を充実させた「千葉県立図書館情報システム」を導入し、令和5年3月に3期目の更新を行った。

##### 《電算システムの概要》

館 名	現行システム（令和5年3月更新）				電算システムの 導入時期	
	機 器 名		基本ソフト名	端末機器(台)※3		
				業務用		利用者用
中 央	日本電気(株)	Express 5800	LiCS-Web II	44	20	平成8年
西 部				32	24	昭和62年
東 部				※1	26	19

※1 本体は外部に設置 ※2 東部図書館は開館準備時から導入 ※3 他に研修用21台、予備5台

## イ インターネット系システム

平成13年から導入した図書館ホームページでは、所蔵資料の検索・予約、県内図書館横断検索（55機関、71コンテンツ）、メールレファレンスの受付などのほか、図書館からの様々な情報発信を行っている。（ホームページへのアクセス件数 332,241件）

### 《横断検索参加自治体及び施設一覧》

（令和5年3月末現在）

自治体 (35市6町1村)	[中央エリア] 千葉市、市原市、習志野市、八千代市、佐倉市、成田市、四街道市、八街市、富里市、茂原市、勝浦市、館山市、鴨川市、南房総市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、酒々井町、大多喜町、長生村、睦沢町、栄町
	[西部エリア] 市川市、船橋市、浦安市、松戸市、柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市
	[東部エリア] 銚子市、香取市、匝瑳市、旭市、東金市、山武市、大網白里市、横芝光町、多古町
大学（4）	千葉大学附属図書館、千葉科学大学図書館、城西国際大学水田記念図書館、放送大学附属図書館
専門（2）	アジア経済研究所図書館、財団法人成田山仏教図書館
県類縁施設（3）	千葉県文書館、千葉県総合教育センター、千葉県立博物館
その他（4）	国立国会図書館、国立情報学研究所、科学技術振興機構、日本出版インフラセンター

## ウ その他システム

平成24年度から3館で公衆無線LANサービスを導入している。

## 2 調査研究や政策形成の支援

### (1) 調査相談業務（レファレンスサービス）

#### ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に対し的確に回答した。

#### イ パスファインダー（調べ方案内）、図書館から世界（ニュース）が見える等の作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダーを作成した（新規2件、改訂6件）。

また、時事問題等に関する情報提供サービスとして、「図書館から世界（ニュース）が見える」を13号発行した。

中央図書館では、「いただきます」はありがとうのきもち～食べごとをたいせつにする～」「見つけて楽しむ 身近な植物」など児童書関連の展示リスト5件、教科書単元・テーマ別資料リスト4件を作成した。

西部図書館では、「食育月間とちばの食」「江戸時代のバラ」「日本植物分類学の父 牧野富太郎」の展示リストを3件作成した。

東部図書館では、「感染症と文学」「震災文学～あの日から12年～」など時宜にかなった展示を定期的に行うとともに、ブックリストを作成、提供した。

〈調べ方案内(パスファインダー) 令和4年度作成・改訂一覧〉

テ ー マ	作 成 館
交通事故の法的トラブル(改訂)	中央図書館
成年後見制度について調べる(改訂)	〃
新聞記事を探す(改訂)	〃
千葉県の行政と議会について	〃
千葉県の新聞記事を探す(改訂)	〃
「消費者問題」について調べる(改訂)	西部図書館
千葉県の神社	東部図書館
自分史について調べる(改訂)	〃

〈図書館から世界(ニュース)が見える 令和4年度作成一覧〉

テ ー マ	作 成 館
成年年齢引下げ	中央図書館
里親制度	〃
部活動の地域移行	〃
千葉県の鳥獣被害と対策	〃
伝統文化の継承	〃
GIGAスクール構想	〃
自転車の利活用	〃
読書バリアフリー法と基本的な計画	西部図書館
梅毒の基礎知識	〃
子どもの摂食障害	〃
フェイクニュース	東部図書館
再生可能エネルギー	〃
インボイス制度	〃

ウ レファレンス事例の公開

調査回答事例の中から、公開用事例として61件を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるよう登録した。

エ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が調査研究に活用されるよう県民への広報を行うとともに、資料の提供、複写サービスを行った。

オ データベースの利用促進

データベースの利用を促進するため、利用者向けのデータベース活用講座を開催した。

カ 研修会の開催

市町村立図書館等職員を対象に、課題解決支援サービス研修会やレファレンス研修会を開催した。

キ 課題解決支援の取組と講座の開催

中央図書館では、「暮らしに役立つ法律・判例情報コーナー」の法律・判例関係資料の充実、関連情報の提供に努めた。また、県民向けの課題解決支援講座「暮らしに役立つ法律・判例情報講座」(2回)や「データベース活用講座」(2回)を開催した。

西部図書館では、医療情報サービス振り返りプロジェクトにより、千葉県立保健医療大学の学生を対象に医療情報の利用状況やニーズ等を調査するアンケートを行った。また、医療情報のデータベース活用等に関する県民向け講座「健康・医療情報講座」(1回)を開催した。

東部図書館では、シニアの暮らしに役立つ資料の充実、関連情報の提供に努めた。また、県民向けの課題解決支援講座「はつらつライブ講座」(1回)を開催した。

〈課題解決支援講座（県民対象）〉

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
【中央図書館】 暮らしに役立つ法律・ 判例情報講座	8月20日(土)	実践！成年年齢下げに伴う契約トラブル対処法 講師 法テラス千葉法律事務所 弁護士 佐藤隆信氏 会場 プラッツ習志野	14人
	11月10日(木)	法律の困りごとに役立つ！県立図書館の法律・判例情報サービス 講師 当館職員	15人
【中央図書館】 データベース活用講座	6月18日(土)	菜の花ライブラリー活用講座 講師 当館職員 ※オンライン同時開催	14人 (会場5人 オンライン9人)
	8月4日(木)	新聞・雑誌記事データベース『ELNET』の使い方と活用方法 講師 株式会社エレクトロニック・ライブラリー営業部 延澤風沙氏	9人
【西部図書館】 健康・医療情報講座	8月28日(日)	医中誌Web活用講座 講師 千葉県済生会習志野病院 図書室司書 佐藤正恵氏	15人
【東部図書館】 はっらっライフ講座	9月10日(土)	認知症を知る～予防から介護まで～（認知症サポーター養成講座） 講師 旭市中央地域包括支援センター職員 デイサービスふくろう職員	19人

(2) 閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行った。

イ 図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供

自宅への図書の直接貸出を希望する県民（資料貸出券の発行を受けている方）に対して、郵送（送料自己負担）による図書（一部の資料を除く）の貸出し、返却サービスを行った。

（利用：43件192冊）

また、来館しにくい県民や災害等により一時的に図書館を利用しにくくなる県民への対応として、郵送による資料貸出券交付申込みを実施した。（利用：35件）

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、県民に広く周知するために、各館展示コーナー等を利用し、定期的に資料を展示した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中央図書館千葉県資料室、新聞雑誌室及び一般資料室においては、資料展示を休止した。）

〈資料展示（展示コーナー等による資料の紹介）〉

【中央図書館】

展示場所	展示名	期間
児童資料室	のぞいてみよう 本のあるところ	4月16日(土)～6月16日(木)
	行ってみよう 発信しよう	6月18日(土)～8月18日(木)
	「いただきます」はありがとうのきもち～食べごとをたいせつにする～	9月17日(土)～12月15日(木)
	12年分をふりかえる 映画になった子どもの本	12月17日(土)～2月16日(木)
	見つけて楽しむ 身近な植物	3月11日(土)～5月28日(日)

※児童資料室にて「鯨に関する本」「鉄道150周年」等のミニ展示を通年で35回実施。



【西部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
カウンター前	食育月間とちばの食	6月18日(土)～7月31日(日)
	江戸時代のバラ	9月17日(土)～11月12日(土)
	日本植物分類学の父牧野富太郎	1月21日(土)～4月20日(木)

※カウンター前にて「おとなも子どもも楽しめる図鑑」等のミニ展示を通年で7回実施。

【東部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
展示コーナー	津田梅子	4月16日(土)～6月30日(木)
	鯨の世界へ	7月1日(金)～9月4日(日)
	芸術の秋	9月6日(火)～10月27日(木)
	明治～文明開化の時代～	10月28日(金)～1月19日(木)
	震災と文学～あの日から12年～	1月21日(土)～4月20日(木)
資料紹介コーナー	教科書に載っている作品	4月16日(土)～6月30日(木)
	太平洋戦争を振り返る	7月1日(金)～8月31日(水)
	宇宙「宇宙の日」制定30周年	9月1日(木)～10月20日(木)
	感染症と文学	10月22日(土)～12月15日(木)
	徳川家康の時代	12月17日(土)～2月16日(木)
	房総の近代三大歌人	2月18日(土)～4月20日(木)

※カウンター前にて「伊能忠敬」「鉄道開業150周年 千葉の鉄道文学」等のミニ展示を、また、「はつらつライフなび(シニア支援コーナー)」では、「6月は食育月間」「認知症を知る」等のミニ展示を、併せて通年で30回実施。

(3) 各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努めた。

【中央図書館】

県民の読書活動の推進や課題解決を支援するため各種事業を実施した。

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
定例おはなし会	毎週土曜日	全46回 語り手 当館職員	延べ182人
親子で楽しむえほんの会	第2・4土曜日	全8回 語り手 当館職員	延べ31人
雨のきせつのおはなし会	7月9日(土) 7月15日(金)	全2回 語り手 当館職員	延べ6人
冬のおはなし会	12月18日(日)	語り手 当館職員	27人
世界とふれあうおはなし会	2月12日(日) 2月19日(日)	語り手 県立生浜高等学校生徒、当館職員	延べ48人
読み聞かせボランティア入門講座	5月7日(土)	絵本の読み聞かせ-選び方と読み方の実践- 講師 にんじん文庫主宰 入交静氏 会場 白井市文化会館	34人
	9月17日(土)	絵本の読み聞かせ-選び方と読み方の実践- 講師 ゆか下文庫主宰 小谷孝子氏 川寄麻希子氏、福原公子氏 会場 三芳農村環境改善センター	34人
読み聞かせ講座(教職員向け) 【さわやかちば県民プラザ共催】	8月3日(水)	読み聞かせにおける、絵本の選び方と読み方について 講師 当館職員 会場 さわやかちば県民プラザ	17人

読書バリアフリー講座	9月4日(日)	タブレットで読み書きをもっと簡単に 講師 学びプラネット合同会社代表 平林ルミ氏 ※オンライン開催	22人
サピエ図書館活用講座	12月22日(木)	視覚障害者情報ネットワーク『サピエ図書館』の活用方法とその実践 講師 株式会社ラビット代表 荒川明宏氏	13人
図書館音訳者養成講座	1月18日(水) 1月25日(水)	音訳で伝える漫画 講師 葛飾音訳ボランティアの会会長 鶴岡幸子氏	延べ13人

#### 【西部図書館】

県民生活上の課題解決を支援するため、各種事業を実施するとともに、当館の特色（自然科学・工学）を生かした「サイエンス・カフェ」を開催した。

障害者サービスについては、「障害者のための資料デジタル化講座」等を開催し、読書相談など幅広い情報提供に努めた。

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
障害者のための資料デジタル化講座	6月24日(金)	テキストデータは盲ろう者にも読める！究極の情報障害『盲ろう者』への情報支援について 講師 筑波技術大学 森敦史氏 テキスト化作業の現状と課題について 講師 当館職員 ※オンライン同時開催	31人 (会場5人、オンライン26人)
サイエンス・カフェ	11月12日(土)	江戸時代のバラ 講師 千葉県立中央博物館 御巫由紀氏	18人
図書館音訳者養成講座 (第1回)	9月16日(金) 9月22日(木)	視覚情報の音声化 講師 元静岡県点字図書館副館長 熊谷成子氏 ※オンライン同時開催	延べ28人 (会場延べ11人、オンライン延べ17人)
図書館音訳者養成講座 (第2回)	10月7日(金) 10月8日(土)	マルチメディアDAISY編集初心者講習 講師 DAISY TOKYO 森田聡子氏ほか講習スタッフ4名	延べ17人
読書バリアフリー講座	12月9日(金)	タブレットやスマートフォンで、合成音声や指で点字を読む 講師 ケージーエス株式会社 坂本貢氏 点字音声情報端末を使った読書 ～サピエ図書館の点字図書・DAISY図書閲覧方法～ 講師 有限会社エクストラ 深見哲史氏 千葉県立西部図書館における遠隔対面朗読の取り組みについて 講師 当館職員 ※オンライン同時開催	34人 (会場14人、オンライン20人)

#### 【東部図書館】

県民の読書活動推進のため「歴史講座」、「文学講座」を開催した。

障害者サービスについては、音訳者の意義と役割について基礎的な知識を習得するために「図書館音訳者養成講座」を開催した。

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
図書館音訳者養成講座 全2回	11月25日(金) 12月2日(金)	録音図書製作作業を遠隔で図書製作支援システム利用の実際 講師 NPO法人デイジー枚方代表 音訳指導者 小林妙子氏	延べ19人
歴史講座	10月13日(木)	神道・神社の歴史と房総 講師 千葉県文書館職員 中川和明氏	24人
文学講座	1月28日(土)	『萬葉集』でたどる古代房総の風景 講師 敬愛大学生涯学習センター講師 柴田まさみ氏	19人

#### (4) 県庁各課等への情報提供

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った。(貸出冊数：2,049冊)

また、県出先機関への郵送サービスを行った。(貸出冊数：232冊)

#### 【新型コロナウイルス感染症の影響】

「郵送による図書の貸出し、返却サービス利用数」

非来館サービスの向上のため平成30年度から開始。臨時休館や特設窓口休止のあった令和2年度は大幅に利用が増えた。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
14件38冊	15件34冊	133件354冊	34件78冊	43件192冊

「定例おはなし会の参加数」

令和2年度・3年度は、おはなし会の中止期間(令和2年2～10月、令和3年1～10月)があったため参加者数が減少したが、令和4年度は通年開催したため、コロナ禍以前と同程度となった。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全44回延べ186人	全34回延べ105人	全9回延べ23人	全15回延べ54人	全46回延べ182人

「県民向け講座参加者数」

感染症対策のため中止や定員の縮小を余儀なくされた。演習を実施する講座が多いためオンライン開催が難しい。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
860人	648人	333人	299人	409人

## 第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

### 1 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存

#### (1) 資料の計画的な収集

千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるとともに、文書館などと連携し、官公庁などへ寄贈依頼を定期的に行った。また、出版情報を新聞記事等により把握し、幅広く収集するとともに、インターネット情報を含む地域行政資料の収集・保存に努めた。

・千葉県資料受入数 購入365冊 寄贈2,382冊 合計2,747冊

#### (2) 県内における大規模災害関連資料及び防災関連資料・情報の収集

県民の課題解決支援の一環として、東日本大震災や房総半島台風、新型コロナウイルス感染症等、県内に甚大な被害をもたらした災害に関する資料や、ハザードマップ等の防災に関連する資料・情報を適宜収集、整理、保存するとともに、資料の提供や図書館ホームページによる情報提供に取り組んだ。

#### (3) 資料の利用促進

千葉県に関するパスファインダー（調べ案内）、千葉県資料のテーマ別資料リスト、菜の花ライブラリーの使用方法の印刷物を作成・配布した。また県内公共図書館等職員を対象に、地域行政資料に関する知識を深め、日常のレファレンス業務や資料の保存・提供の充実を図るため、研修会を実施した。

### 2 千葉県関係資料の情報発信の推進

#### (1) 千葉県関係の情報検索ツールの充実

国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供、千葉県関係の新聞・雑誌記事索引、歴史関係雑誌記事索引、千葉県に関する調べ案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等の情報検索ツールの作成等を行い、レファレンスサービスの充実に努めた。

・新たに千葉県内デジタルアーカイブリンク集を作成し、公開した。

・千葉県関係として国立国会図書館レファレンス協同データベース26件、パスファインダー3件、テーマ別リスト9件、「図書館から世界（ニュース）が見える」1件を追加した。

#### (2) 貴重資料保存のためのデジタル化

『房総関係古文書古記録展覧会出品目録』や『図書整理法』など明治時代以降の洋装本をデジタル化し、菜の花ライブラリーで公開してインターネットを通じて閲覧できるようにした。

#### (3) 菜の花ライブラリー活用講座の実施

県民が千葉県についての情報を効率的に幅広く入手し、千葉県への理解を深めるために、ホームページで公開している千葉県関係データベース「菜の花ライブラリー」の利用方法を学ぶ機会として菜の花ライブラリー活用講座を実施した。また、利用方法を紹介する動画を作成し、公開した。

## 第5 知の創造と循環を生み出す公共の場

### 1 博物館・文書館などとの連携

博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座、資料貸出し、文献リストの作成等を実施した。

博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等が実施する講座等へ、職員を講師等として派遣し

た。

また、文書館、中央博物館、さわやかちば県民プラザ、図書館の担当者による意見交換会を開催し、情報共有を進めた。

#### 【中央図書館】

- ・さわやかちば県民プラザとの連携（読み聞かせ講座〈17人〉）
- ・法テラス千葉法律事務所との連携（「くらしに役立つ法律・判例情報講座」〈14人〉）
- ・中央博物館との連携（特別展「鯨」関連展示・おはなし会／春の展示「ちばの植物 探・検・隊！」関連講演会「日本の植物分類学の父 牧野富太郎」の開催〈79人〉・関連ブックリストの作成・資料の展示）
- ・房総のむらとの連携（親子で楽しむ昔話〈延べ70人〉）
- ・生浜高等学校との連携（世界とふれあうおはなし会〈延べ48人〉）
- ・千葉県学校図書館協議会、千葉県教育研究会学校図書館教育部会及び千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会との連携（「第32回読書感想画中央コンクール」千葉県入賞作品の展示会）

#### 【西部図書館】

- ・健康福祉部高齢者福祉課との連携（「認知症」理解普及月間に合わせた資料展示）
- ・中央博物館との連携（サイエンス・カフェ〈18人〉）
- ・農林水産部安全農業推進課、同流通販売課、千葉県観光物産協会との連携（ちばの食育月間に合わせた資料展示）

#### 【東部図書館】

- ・健康福祉部高齢者福祉課との連携（「認知症」理解普及月間に合わせた資料展示）
- ・千葉県文書館との連携（歴史講座〈24人〉）
- ・中央博物館との連携（展示「鯨」の開催期間に合わせて関連図書を展示）
- ・NPO光と風との連携（旭市文化祭美術展で行われた「郷土の詩人高橋順子の世界」展において写真パネルや関連資料を展示）

## 2 すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設

### (1) 障害者・高齢者サービス

障害や年齢のために図書館利用が困難な方が資料の提供を受けられるように、各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館等への普及を図った。また、先進事例を調査・研究し、サービスの推進を図るため、中央図書館児童資料室内に点訳絵本やさわる絵本、LLブックなどのバリアフリー資料を集めた「りんごの棚」を設置し、手に取りやすい形での資料提供を行っている。

#### ア 読書バリアフリー講座の開催（中央、西部）

活字による読書の困難な方とその支援者や市町村立図書館職員、特別支援学校教職員等を対象に、拡大読書器や活字を読み上げる機器、デジタル録音図書の再生機器の説明会並びにICTを活用した読書の最新動向の紹介等を行った。

#### イ 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受け提供した。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行った。

- ・録音図書の貸出タイトル数：10,266タイトル
- ・点訳絵本を2タイトル、録音図書を11タイトル製作した。

#### ウ 対面朗読

図書館音訳者が図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読する対面朗読については、研修室・会議室等の広い部屋を使用する等の感染症対策を講じながら実施した。

西部図書館では、オンラインによる遠隔対面朗読サービスを開始するとともに、異なるアプリによる実証実験を行い環境整備を進めた。また、市立図書館への講師派遣を行いサービスの普及に努めた。

#### エ 活字資料のテキストデータ化（西部）

利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行った（新規23タイトル製作、うち17タイトルを国立国会図書館へ提供）。併せて、作業に従事する図書館音訳者等向けに「障害者のための資料デジタル化講座」を開催した。

また、千葉県立西部図書館だより『West Library』に加え、千葉県立中央図書館報『千葉文化』、千葉県立東部図書館だより『知識は旅をする』のテキストデータ版の提供を開始した。

#### オ 録音図書等のデータ提供

「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」に所蔵する録音図書等の目録情報を、「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス」に製作した録音図書等のデータを提供し、利用者がインターネットで利用できる環境を整備した。

- ・提供したデータの利用数：6,155件

#### カ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、音訳者の資質向上のための講座を開催した。

#### キ 障害者サービス研修会の開催（西部）

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会を開催した。

#### ク サピエ図書館活用講座の開催（中央）

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する講座を開催した。

#### ケ 高齢者サービスの推進（東部）

高齢者サービスの課題を整理し、「はつらっライフ講座」等を開催するとともに、「はつらっライフなび（シニア支援コーナー）」の充実を図った。

## （2）広報・啓発

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するため、要覧、各館館報（千葉県立中央図書館報『千葉文化』、千葉県立西部図書館だより『West Library』、千葉県立東部図書館だより『知識は旅をする』）、『子どもの読書活動推進センター通信～子どもの読書をめぐる人々をつなぐ架け橋～』を発行した。

より県民に親しみやすく、時宜を得た情報を発信するため、県立図書館ホームページを随時更新するとともに、ツイッターを活用して所蔵資料や事業内容を紹介した。（ツイート数 452件）

高校生・大学生のインターンシップを受け入れ図書館業務の理解促進を図った。（西部・東部）

### 【新型コロナウイルス感染症の影響】

#### 「連携事業実施回数」

博物館などとの連携事業のうち、各種講座やおはなし会については、令和2年度から4年度にかけて、定員の減員、書面開催やオンライン開催への変更、中止があった。また、令和2年度には、文書館、さわやかちば県民プラザ、中央博物館担当者との意見交換会を中止した。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
18回	25回	13回	16回	18回

#### 「対面朗読サービスの利用時間」

令和2年3月から5月までの臨時休館及び同年6月末までの間は、来館による対面朗読を中止した。

西部図書館では令和3年度からオンラインによる対面朗読を実施することで利用機会を保障し

た。

平成30年度 (コロナ禍以前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
195 (-) 時間	187(-) 時間	51 (-) 時間	59(11) 時間	110(42) 時間

※ ( ) はうち、オンラインによる対面朗読の時間

## 第6 県立図書館の事業点検及び再編準備

### 1 点検・評価

「千葉県立図書館行動計画」の進捗状況を図書館協議会に報告し、意見をいただくとともに、ホームページに公表して図書館サービスの向上や改善に努めた。

### 2 利用者アンケートの実施

図書館利用の満足度等利用状況を把握し、図書館運営の参考とするため、秋の読書週間に利用者アンケートを実施した。

### 3 県立図書館の再編準備

平成30年度から1館集約に向けた物流や研修、資料収集等といった課題の整理及び検討、計画、準備を進めている。

県立図書館事業に関する基本的な方針・施策について定める「千葉県立図書館サービス計画（仮称）」の検討を開始するとともに、下記の取り組みを行った。

- ・ 1館集約後の物流体制について、運営相談での聴取等を通じて得た市町村立図書館等の意見も踏まえ、検討を進めた。
- ・ 県内最後の1冊保存体制の検討について、国内の先行事例等を分析し、調査項目の検討を進めた。
- ・ 重複して所蔵している図書について、狭隘化の著しい中央図書館から優先して除籍作業を行った。
- ・ 非来館型サービスの推進のため、WEBフォームによる館内閲覧資料の取り寄せ申込みを令和5年4月から実施するための準備を進めた。

### 4 東部図書館における旭市図書館の一部使用

東部図書館の旭市への移譲までの間、当館の一部を旭市図書館として使用することに伴い、令和3年7月10日に開館した旭市図書館と当館の利用者サービスが円滑に行えるように努めた。

(2)千葉県立図書館行動計画(令和3～5年度)の実施状況(令和5年3月末現在)について

資料 1

	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	目標値	実績値	
			R3	R4	R5					
1	図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	【市町村立図書館等への貸出し、相談事業等の推進】 ・市町村立図書館等を通じた貸出しについて広報を進める。 ・毎年全市町村を訪問し、図書館の運営等についての調査相談を行うとともに、電話やメール等を通じた相談を随時行う。	▶	▶	▶	・全市町村を訪問し、各図書館の課題について運営相談を行った。中央:1回目18箇所、2回目20箇所、延べ38箇所実施。西部:11箇所実施。東部:1回目17箇所、2回目18箇所、延べ35箇所実施。また、電話やメール等を通じた相談を随時実施した。 ・3館それぞれ相互協力担当者会議を4月～5月に開催し、相互協力業務の確認や情報交換を行った。	市町村立図書館等への貸出冊数	75,000	69,949 (93.3)
			【新館における物流体制の検討】 ・現状の課題等について市町村立図書館等に運営相談等を通じて聴取するとともに、全県でアンケートを実施し、新館整備に向けて検討を進める。	▷	▷	▷	・1館集約後の物流体制について、12月に連携課長会議を開催し、検討を行った。また、物流担当者で県内アンケートについて検討を行った。 ・県立図書館資料の受取・返却場所の拡張の可能性についてシステム検討の参考とするため、県内市町村図書館等へアンケートを実施した。	市町村立図書館等の運営相談件数	120	230 (191.7)
			【県内最後の1冊保存体制の検討】 ・先行する図書館や団体等に個別調査を行う。 ・課題等について市町村立図書館等と情報交換を進め、県内の保存体制のモデル案を検討する。 ・市町村立図書館等が最後の1冊を確認できるよう今後の電算システムに盛り込む機能を検討する。	▷	▷	▷	・国内の先行事例等の調査は、更なる文献調査に代えて実施した。 ・今後、県内市町村立図書館等への意見聴取を検討している。 ・3月に実施した電算システムの更新では機器更新のみとなったため、次期の電算システムで検出機能を盛り込む予定。			
2	図書館職員職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	【経験別、分野別研修の実施】 ・研修結果の分析をし、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶	・新任職員、児童、レファレンス、障害者、学校図書館運営、中堅、課題解決支援、地域行政、大学連携研修の各研修を実施した。 ・各研修時のアンケート結果を分析し、課題の整理を進めた。	研修受講者の満足度	94.5%	93.0%
			【研修機会の拡充】 ・開催方法を検討し、遠隔開催や地域別開催を実施する。	▶	▶	▶	・中央図書館主催研修事業の開催場所について検討し、県文化会館を会場とした。一部の研修会については同時にもしくは完全に遠隔で研修を実施した。また、新任職員研修と中堅職員研修では動画の後日配信を、新任職員研修ではサテライト会場での受講を実施した。			
			【研修内容のアーカイブ化】 ・国内の事例等について調査し、課題等の洗い出しを行う。	▷	▷	▷	・研修内容のアーカイブ化(ホームページでの公表等)について、他県等に対する調査項目など検討した。また、研修内容や事業報告については、ホームページでの公表を開始している。			
3	地域の子どもの読書環境整備の推進	【児童資料の研究支援の推進】 ・児童文学研究や子どもの読書に関する活動に役立つ資料を揃え、子どもと児童文化に関する情報を蓄積するとともに、調査研究活動を支援するツールを提供する。	▶	▶	▶	・児童資料研究書の収集を継続するとともに、児童資料室内で展示を行い、利用促進を図っている。	地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物	2	2 (100.0)	
		【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。	▶	▶	▶	・子育て支援関連資料の収集を継続している。4年度の入入資料は7点。 ・「図書館から世界が見える」で、子育て支援に関連するテーマ「里親制度」を公開した。				
		【児童書の網羅的収集の検討】 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等を参考に方法を検討する。	▷	▷	▷	・令和3年度は、令和2年度に実施した都道府県立図書館への照会結果を分析するとともに、個別調査先の検討を進めた。 ・個別調査先は、山口県立山口図書館と滋賀県立図書館とし、令和4年10月18～19日に訪問調査を実施した。 ・訪問調査の結果を分析し、事業化の検討を進めている。				
		【新しいサービスの研究開発】 ・図書館利用の困難な子どもや保護者について、実態把握に努め、利用支援方法を検討する。 ・ヤングアダルト(ティーンズ)サービスの全県でのサービス充実を目指す方策を検討する。 ・地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物を発行する。	▷	▷	▶	・日本語を母語としない子どもの読書活動の支援の参考とするため、11月に県外先進館の視察を実施した。子どもと保護者が母語で楽しめるおはなし会として「世界とふれあうおはなし会」を令和5年2月12日・19日に実施した。 ・ヤングアダルト(ティーンズ)サービスについては、『子どもの読書活動推進センター通信』第2号の特集を「千葉県内のヤングアダルトサービス」とし、県内の取り組み事例を紹介した。また、千葉県立図書館ホームページ内「とよ部っ!～中高生の本だな～」のページに、読書や学習に役立つリンク集を追加した。 ・令和3年度に『子どもの読書活動推進センター通信』を創刊し、令和4年8月に第2号、令和5年3月に第3号を発行した。				
	(2) 学校図書館への支援の強化	【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進め、ニーズを把握するとともに、未登録校への広報活動を実施する。	▶	▶	▶	・管内の未登録校へ事業説明を行い、新規登録及び利用促進のためサービス案内文書を送付した(中央)。 ・管内の高校に対し、新規登録及び利用促進のためサービス案内文書を送付した(西部)。 ・運営相談を実施した(西部:11月に1校訪問、運営相談を実施。東部:20校、のべ25回訪問、運営相談を実施)。 (※特別支援学校については【特別支援学校への読書支援の充実】の項に別掲) ・高校への運営相談訪問や読み聞かせ講座での訪問の際に、学校図書館の実態とニーズの把握に努めた。また、学校側のニーズを知るため、アンケートを実施した。 ・学校図書館研修会を実施し、学校図書館担当職員の管理・運営・技能の向上を図った(東部)。	県立学校等への貸出冊数	31,000	18,724 (60.4)	
		【学校貸出セットの充実】 ・貸出セットについて、内容の検討及び整備を推進する。 ・要望の多い貸出セットを調査、把握し必要性の高いものの重複購入を進める。	▶	▶	▶	・要望の多い貸出セットや改訂が必要なセットについて調査検討し、改定、新規セットを作成した。 ・4年度は「生活習慣病・がん」を新規作成し、「地球温暖化」を「地球温暖化・カーボンニュートラル」として改訂、「修学旅行」を改訂した。	学校貸出セットの新規整備・改訂数	10	10 (100)	
(2) 学校図書館への支援の強化	【生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等の実施】 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	・生徒向け読み聞かせ講座について、募集を行ったところ上限の7校を超える申し込みがあった。7校に実施したほか、「世界とふれあうおはなし会」のため1校に実施した。 ・小中学校支援モデル事業として千葉中学校で図書館前講座を実施してきたが、令和3年度までで休止し、令和4年度は利用案内と資料貸出券の発行を行った。					
	【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】 ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援を行う。	▶	▶	▶	・令和4年度の図書館運営相談の際に、県内3エリア共通で実施した調査結果により、小中学校への団体貸出は8割以上の自治体で実施している一方、県立本を小中学校へ貸出する場合には督促・紛失・破損時の対応、貸出期間や借受本の管理方法に課題があることを把握した。引き続き、教科書単元・テーマ別資料リストを充実させるとともに、連携や支援の方法を検討し、資料活用の推進を図る。 ・図書館未設置市町村への訪問時に小中学校の教科指導で使える教科書単元・テーマ別資料リストを更新したものとその図書見本を持参し、管内小中学校等への周知を依頼した。中学校用リストについては、「竹取物語」「故事故語」「短歌」「俳句」の4件を作成した。小中学校への資料貸出の傾向を把握するとともに、市町村立図書館等読書施設での資料購入(選書)の支援をしていく。					
	【特別支援学校への読書支援の充実】 ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。	▶	▶	▶	・特別支援学校への訪問、絵本の読み聞かせを中心とした「おはなし会」や運営相談を実施。その際、未登録校には登録方法を案内し利用促進を図る。 ・中央図書館では、8校を訪問しおはなし会・講座・図書委員取材等を実施した。 ・西部図書館では7校に訪問し、おはなし会等を9回実施し、1校に運営相談を実施した。また、管内の特別支援学校に対し、新規登録及び利用促進のためサービス案内文書を送付した。 ・東部図書館では2校に訪問し、おはなし会を3回、読み聞かせ講座を1回実施した。また、のべ6校で運営相談を実施した。					
	【探究学習支援への対応】 ・教科書単元・テーマ別資料リストについて、順次内容の追加・改訂を進めるとともに、市町村立図書館等を通じて周知を図る。 ・図書館を使った授業等についての情報発信を進める。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。	▶	▶	▶	・学習指導要領の内容を踏まえ、「図書館から世界が見える」で令和3年度に「探究学習」を作成し、令和4年度に「GiGAスクール構想」を作成した。 ・運営相談時に小中学校の教科指導で使える教科書単元・テーマ別資料リストを更新したものとその図書見本を持参し、管内小中学校等への周知を依頼した。中学校用リストについては「竹取物語」「故事故語」「短歌」「俳句」の4件を作成した。 ・小中学校への資料貸出の傾向を把握するとともに、市町村立図書館等読書施設での資料購入(選書)の支援をしていく。 ・探究学習についての利用支援方法の検討について、令和4年度事業計画の重点事業とし、「とよ部っ!～中高生の本だな～」ページでの情報発信等に取り組むこととした。「読書や学習に役立つ子どものためのリンク集」を見直し、「探究学習関連リンク集」と「子どものためのリンク集」に分割して改訂予定。中高生向けと小学生向けに整理し、「とよ部っ! 中高生の本だな」と「こどものページ」でそれぞれ公開した。					



	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	目標値	実績値		
			R3	R4	R5				R4	R4	
4	課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	【課題解決支援サービスの充実】 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。	▶	▶	▶	・法律・判例情報サービス:くらしに役立つ法律・判例情報講座を県内市町村を会場として8月に開催するとともに、「法律・判例情報の探し方-法情報の基本的なりサーチと演習-」をテーマに課題解決支援サービス研修会(図書館等職員対象)を11月に開催した。(中央) ・医療・健康情報サービス:8月に健康・医療情報講座(医中誌Web活用講座)を開催した。また、医療・健康情報サービス振り返りプロジェクトチームにより、サービスについてのアンケート調査を実施(調査対象 3/19~5/19:来館者、6/14~7/18:県立保健医療大学学生)。12月には公共図書館における健康医療情報サービスをテーマとした課題解決支援サービス研修会(図書館等職員対象)を開催した。(西部) ・シニア支援情報サービス:はつらつライフ講座を認知症をテーマに旭市高齢者福祉課の協力を得て9月に開催した。(東部) ・世界アルツハイマー月間に合わせ、9月に認知症に関する資料展示を実施した。(西部・東部) ・バスファインダーについては、「消費者問題」(西部)「交通事故の法的トラブル」(成年後見制度)(中央)「自分史」(東部)の改訂を行い、計4件発行した。	バスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」発行件数	15	17	(113.3)
			【レファレンス事例の一般公開】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。	▶	▶	▶	・レファレンス協同データベースに事例を36件(千葉県関係は5-(1)に別掲)登録した。				
			【県民向け講座の実施】 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	・各館の特長を活かし、以下の県民向け講座を開催している。 くらしに役立つ法律・判例情報講座(中央8月20日14名参加、11月10日15名参加)、健康・医療情報講座(西部8月28日16名参加)、サイエンス・カフェ(西部10月30日17名参加)、はつらつライフ講座(東部9月10日19名参加)、歴史講座(東部10月13日24名参加)、文学講座(東部1月28日19名参加)。				
			【時事問題等に関する情報提供サービスの実施】 ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリストやリンク集等の作成、提供を行う。	▶	▶	▶	・「図書館から世界(ニュース)が見える」を合計11号刊行した。(千葉県関係は5-(1)に別掲) ・資料展示に合わせるなどして3館でブックリスト計18件を作成した。				
			【電子書籍の導入の検討】 ・電子書籍について費用も含めた導入の検討を進める。	▷	▷	▷	・所蔵資料との重複や調査研究機能に重点を置いた場合の利便性の比較、他の県立図書館での導入及び利用状況、導入に要する経費等について検討を進めている。				
5	千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁や関係部署へ情報収集をし、寄贈資料の収集に努める。また、インターネットでの提供に移行した資料についても、漏れのないように収集する。 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め受入に繋げる。	▷	▷	▷	・千葉県関係資料の3月末現在の3館の収集状況は以下のとおり。 中央は購入257冊、寄贈1,907冊、合計2,164冊。西部は購入51冊、寄贈326冊、合計377冊。東部は購入57冊、寄贈149冊、合計206冊。 ・網羅的収集については、連携協力を進める図書館とも調整をしながら検討していく。	千葉県に関する情報発信件数(レファレンス事例、バスファインダー、テーマ別リスト、「図書館から世界(ニュース)が見える」等作成件数)	40	44	(110.0)
			【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供や新聞雑誌記事索引、人名索引、デジタルアーカイブ、バスファインダー、テーマ別リスト、目次情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。	▶	▶	▶	・千葉県関係として国立国会図書館レファレンス協同データベースに26件登録した。バスファインダー3件、テーマ別リストを9件を作成した。また、『千葉県文化』特集、『千葉県協だより』(千葉県史料保存活用連絡協議会)原稿を執筆し、葉の花ライブラリーの紹介動画3件を作成、公開した。 ・新聞雑誌記事索引のうち、歴史関係雑誌記事索引については709件公開した。 ・千葉県関係新聞記事索引については、公開分データの修正等、63,132件のデータメンテナンスを行った。HPのヘルプ画面についてさらに情報に到達しやすくなるよう改善を検討している。 ・目次情報については、内容細目や形態等、51件追記し公開した。				
			【千葉県資料のデジタル化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など計画的にデジタル化を進める。	▶	▶	▶	・県立図書館や県内図書館が発行した資料等、明治以降の洋装本21タイトルをデジタル化し、葉の花ライブラリーで公開した。				
			【インターネット上の地域行政資料の動向等調査】 ・ポーンデジタル資料の収集やオープンデータの活用など、国内の動向について調査を行う。	▷	▷	▷	・ポーンデジタル資料の3月末現在の3館の収集状況は以下のとおり。ポーンデジタル資料をプリントアウトし、中央731冊(逐次刊行物27タイトル731号分)、西部82冊(逐次刊行物4タイトル82号分)、東部18冊(逐次刊行物2タイトル18号分)を収集した。 ・国内の動向等の調査については、調査手法や内容について検討を進めていく。				
			【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。	▶	▶	▶	・中央図書館では、中央博物館特別展「鯨」の期間中「クジラ・シャチの本」の展示を行うとともに、おはなし会で関連資料の読み聞かせや紹介をした。「読み聞かせ講座」(県民プラザ主催)を3年ぶりに対面で開催した。房総のむらの実施事業「むらの緑日・夕涼み」において、子ども・親子向けの特別イベントとしておはなし会を実施した。「くらしに役立つ法律・判例情報講座」では、法テラス千葉法律事務所から講師を招いた。図書館内に第33回読書感想画中央コンクール千葉県入賞作品を展示した(千葉県学校図書館協議会千葉県教育研究会学校図書館部会及び千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会主催)。千葉県立社会教育施設等(県民プラザ・図書館、中央博物館・文書館)の事業連携に関する意見交換会、中央博物館春の展示「ちばの植物 探・検・隊!」連携事業として講演会「日本の植物分類学の父 牧野富太郎」と資料展示「見つめて楽しむ 身近な植物」、世界とふれあうおはなし会(県立生活高等学校との連携事業)、千葉県読書推進運動協議会(公益社団法人読書推進運動協議会)との連携事業として文芸講演会を実施した。 ・西部図書館と東部図書館では、「世界アルツハイマーデー」に合わせ健康福祉部高齢者福祉課と連携し、資料の展示、リーフレット配布及びTwitter、HPでの資料紹介を実施した。 ・西部図書館では、ちばの食育月間に農林水産部安全農業推進課と同流通販売課、千葉県観光物産協会と連携し、資料の展示、パンフレット類配布及びTwitter、HPでの資料紹介を実施した。千葉県立中央博物館から講師を迎え「江戸時代のバラ」をテーマに「サイエンス・カフェ(講演)」を開催した。中央博物館春の展示「ちばの植物 探・検・隊!」連携事業として資料展示「日本の植物分類学の父 牧野富太郎」を実施した。 ・東部図書館では、農林水産部安全農業推進課と連携し、ちばの食育月間にミニ展示を実施した。県立中央博物館特別展「鯨」にあわせて関連資料を展示し、展示リストを配布した。「はつらつライフ講座」及び「歴史講座」には、それぞれ旭市高齢者福祉課、千葉県文書館から講師を招いた。旭市文化祭「郷土の詩人 高橋順子の世界」に参加し、いいおかユートピアセンターにおいて関連資料の展示、リストの配布を実施した。	連携事業の実施回数	15	18	(120.0)
6	知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	▶	▶	▶	・中央博物館、文書館、さわやかちば県民プラザの担当者間で連携事業等について、12月15日に意見交換会を実施した。				
			【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等の作成を進める。 ・サビエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データの提供を推進する。	▶	▶	▶	・中央図書館では、点訳絵本2タイトル、録音図書2タイトルを製作した。西部図書館では、録音図書3タイトル(うち1タイトルは累積蔵書目録)、テキストデータ23件を製作したほか、オンラインによる遠隔対面朗読サービス及びテキストデータ化サービスについて、利用案内のためのWebページを作成した。東部図書館では、録音図書6タイトルを製作した。 ・国立国会図書館へ提供した作成データは累計830件(音声DAISY797件、マルチメディアDAISY8件、プレーンテキスト25件)となり、令和4年度には6,155件(音声DAISY6,123件、マルチメディアDAISY22件、プレーンテキスト10件)の利用(ダウンロード)があった。	障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数	25	38	(152.0)
		(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。 ・遠隔対面朗読等インターネット等を活用したサービスや県内図書館等との連携を強化する。	▶	▶	▶	・中央図書館では、読書バリアフリー講座(9月4日22名参加)、サビエ図書館活用講座(12月22日13名参加)を開催した。図書館音訳者養成講座(中級)(第1回1月18日7名参加、第2回1月25日6名参加)を開催した。 ・西部図書館では、障害者サービス研修会(第1回:7月8日28名参加、第2回:7月22日25名参加)、障害者のための資料デジタル化講座(6月24日31名参加)、図書館音訳者養成講座(第1回:9月16日・22日延べ28名参加、第2回:10月7日・8日延べ17名参加)、読書バリアフリー講座(12月9日34名参加)を開催した。また、オンラインによる遠隔対面朗読を21回42時間実施した。遠隔対面朗読の本格実施にあたり、利用案内のためのWEBページを作成したほか県教委ニュースやTwitter等により広報に努めた。12月には市立図書館からの要請により、当該図書館職員を対象とする遠隔対面朗読に関する研修会に講師として職員を派遣するとともに、運営相談を実施した。 ・東部図書館では、図書館音訳者養成講座(第1回:11月25日10名参加、第2回:12月2日9名参加)を開催した。				
(3) 情報発信機能の強化	【新しいサービスの研究開発】 ・多言語・多文化社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	▷	▷	▷	・多言語・多文化に対応したサービスの参考とするため、11月に県外先進館の視察を実施した。また、西部図書館では県内の各国際交流協会にアンケートを実施しニーズ調査を行った。アンケート準備のため、一部の協会に対して事前インタビューも行った。						
		【積極的な広報・PRの推進】 ・ホームページやTwitterによる発信に努めるとともに、ブランディングについて研究を進める。	▷	▷	▶	・展示・イベント等の情報をホームページで発信するとともに、Twitterでは時宜にあわせた資料紹介等を行っている。 令和3年12月17日にブランディングの研修を実施、3館で計48名の職員が参加、令和4年度は県立図書館に適した形での実施について検証するため、3回に分けて中央図書館広報委員会がブランディングを試行した。ホームページにバナーを設置し、新館に関する各計画等の掲載ページの入口とした。	Twitterの発信件数	360	452	(125.6)	

※令和3～5年度の各年度とも目標値を目指す。

※スケジュール凡例

▷: 検討段階

▶: 実施段階

※( )は進捗率

令和6年 月 日

### (3) 次期千葉県立図書館行動計画（素案）について

#### 1 策定の趣旨

平成30年1月に千葉県教育委員会において、これからの時代にふさわしい県立図書館の指針として「千葉県立図書館基本構想」を策定し、これを踏まえ県立図書館では、光り輝く「教育立県ちば」の実現と「読書県ちば」の飛躍に向けて大きく寄与するとともに、県民の皆様の期待により一層応えることのできる図書館となるよう取り組むため、「千葉県立図書館運営方針」（以下「運営方針」という。）を定めました。

この運営方針に基づき「千葉県立図書館行動計画」（以下「計画」という。）を策定しており、これまでに第1次（平成30～令和2年度）、第2次（令和3～5年度）の計画期間が終了したことから、令和6年度から8年度の計画を策定したところです。

今期計画については、運営方針に変更がないことから、大枠はこれまでの計画を継承するものとしていますが、より実効性のある計画となるよう評価指標の見直しを行い、各項目の評価を行えるようにしています。

今後3年間に特に重点的に取り組むべき項目を設定し、目標達成に取り組むとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行い、図書館サービスの向上に努めてまいります。

#### 2 計画期間

令和6年度から8年度までの3年間

### 3 計画内容

運営方針に基づき、県立図書館の6つの役割・機能について次のとおり重点項目を設定し、それぞれについて主な取組と達成状況を測るための評価指標、目標値を設定します（別紙「千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）について」）。

役割・機能	重点項目
1 図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化
2 図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化
3 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進 (2) 学校図書館への支援の強化
4 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化
5 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進
6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進 (2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実 (3) 情報発信機能の強化

次期千葉県立図書館行動計画(素案)

重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値	実績値
		R6	R7	R8			
1 図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	【市町村立図書館等への貸出し、相談事業等の推進】 ・市町村立図書館等を通じた貸出しについて広報を進める。 ・毎年全市町村を訪問し、図書館の運営等についての相談に応じるとともに、電話やメール等を通じた相談を随時受け付ける。	▶	▶	▶	市町村立図書館等への貸出冊数	75,000 69,949
		【新館における物流体制の検討】 ・現状の課題等について市町村立図書館等に運営相談等を通じて聴取するとともに、全県でアンケートを実施し、新館整備に向けて検討を進める。	▶	▶	▶	市町村立図書館等の運営相談件数	120 230
		【県内最後の1冊保存体制の検討】 共通ルール(案)の作成 共通ルール(案)の県内図書館への意見聴取 県内図書館への説明、協力依頼	▷	▷	▷		
2 図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	【経験別、分野別研修の実施】 ・研修結果を分析し、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶	研修会の受講者数	780 744
		【研修機会の拡充】 ・開催方法を検討し、遠隔開催や地域別開催を実施する。	▶	▶	▶		
		【研修内容のアーカイブ化】 ・国内の事例等について調査し、課題等の洗い出しを行う。	▷	▷	▷		
3 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	【児童資料の研究支援の推進】 ・児童文学研究や子どもの読書に関する活動に役立つ資料を揃え、子どもと児童文化に関する情報を蓄積するとともに、調査研究活動を支援するツールを提供する。	▶	▶	▶	子どもの読書活動推進センターページアクセス数	1,000 953
		【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。	▶	▶	▶		
		【子どもの読書活動推進センターとしての普及・啓発・情報発信】 ・センター通信を発行し、センターの活動や県内の取組を広報する。 ・郷土に関する資料情報リストの作成を進め、HPに掲載する。	▶	▶	▶		
		【新しいサービスの研究開発】 ・図書館利用の困難な子どもや保護者について、実態把握に努め、利用支援方法を検討する。 ・ヤングアダルト(ティーンズ)サービスの全県でのサービス充実を目指す方策を検討する。 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等を参考に方法を検討する。	▷	▷	▷		
	(2) 学校図書館への支援の強化	【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進め、ニーズを把握するとともに、未登録校への広報活動を実施する。	▶	▶	▶	貸出利用があった県立学校等の割合	50% 41.2%
		【学校貸出セットの充実】 ・貸出セットについて、内容の検討及び整備を推進する。 ・既存のセットについて、内容が古くなった資料の差し替えによる改訂を検討する。 ・要望の多い貸出セットを調査、把握し必要性の高いものの重複購入を進める。	▶	▶	▶	学校貸出セットの貸出回数	260 221
(2) 学校図書館への支援の強化	【生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等の実施】 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。	▶	▶	▶			
	【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、教科書単元・テーマ別資料リストを充実させ、資料情報の提供による支援を行う。	▶	▶	▶			
	【特別支援学校への読書支援の充実】 ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。	▶	▶	▶			
	【探究学習支援への対応】 ・教科書単元・テーマ別資料リストについて、順次内容の追加・改訂を進めるとともに、市町村立図書館等を通じて周知を図る。 ・図書館を使った授業等についての情報発信を進める。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。	▶	▶	▶			

重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値	実績値
		R6	R7	R8			
4 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	【課題解決支援サービスの充実】 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。 ・テーマごとに基本資料や調査方法をまとめた調べ方案内を作成、提供する。	▶	▶	▶	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」ページ閲覧数	57,000 50,547
		【レファレンス事例の一般公開】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。	▶	▶	▶		
		【県民向け講座の実施】 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶		
		【時事問題等に関する情報提供サービスの実施】 ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリストやリンク集等の作成、提供を行い、活用促進のため広報に努める。	▶	▶	▶		
		【電子書籍の導入の検討】 ・電子書籍について費用も含めた導入の検討を進める。	▷	▷	▷		
5 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集・整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁や関係部署へ情報収集をし、寄贈資料の収集に努める。また、ポーンデジタル資料についても、遺漏なく収集できる方法を検討する。 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め受入に繋げる。	▷	▷	▷	千葉県に関する情報発信件数 葉の花ライブラリーアクセス数	45 44 前年度比4%増 81,786
		【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供やパスファインダー、テーマ別リスト、書誌情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。 ・葉の花ライブラリー(「千葉県デジタルアーカイブ」と「索引」および「調べ方案内(パスファインダー)」)で構成するデータベースのデータの追加を進める。	▶	▶	▶		
		【千葉県関係情報のアーカイブ化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など計画的にデジタル化を進める。 ・県として遺すべき千葉県に関する情報のうち記録の乏しい事柄について、関係者にインタビューを行い、オーラルヒストリーとしてアーカイブ化する。	▶	▶	▶		
		【インターネット上の地域行政資料の収集・提供方法の検討】 ・県として遺すべき千葉県関係の電子情報について、次期図書館システムでの収集・提供を想定し、インターネット上の情報のほか、県や他機関等で持つ公開されていない情報の所在を調査し、公開を呼びかけるとともに、運用を検討する。	▷	▷	▷		
		【連携事業の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。	▶	▶	▶	連携事業の実施回数 連携イベント参加者数	23 350 18 438
6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館などの連携の推進	【連絡調整会議の開催】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等との情報共有を進める。	▶	▶	▶		
		【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等の作成を進める。 ・サビエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データの提供を推進する。	▶	▶	▶	国立国会図書館提供データダウンロード数	5,500 6,155
		【障害者サービスの普及】 ・千葉県読書バリアフリー推進計画に基づき読書のバリアフリーを拡充させる。 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を実施する。 ・遠隔対面朗読等インターネット等を活用したサービスや県内図書館等との連携を強化する。	▶	▶	▶		
(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	【新しいサービスの研究開発】 ・多言語・多文化社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	▷	▷	▷			
	【積極的な広報・PRの推進】 ・県立図書館として目指すブランディングの方向性を共有した上で、ホームページ及びツイッターにより時宜を得た情報発信を行う。	▶	▶	▶	ツイッターのフォロワー数	前年度+250 前年度+213	

※具体的な記述のあるもの以外は、各年度とも目標値を目指す。

※スケジュール凡例

▷：検討段階

▶：実施段階

次期千葉県立図書館行動計画(素案)評価指標一覧

		重点項目	評価指標	説明	実績値	目標値
					R4	
1	図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	市町村立図書館等への貸出冊数	市町村立図書館等への貸出冊数は、市町村支援の状況を見る上で重要な指標であることから、前期(H30～R2)の行動計画で目標値に届かなかったが再度目標としたもの。 コロナ禍に入る前の平成29年度は74,861冊、平成30年は72,468冊であり、社会の状況が落ち着きを取り戻せば達成可能と捉えている。	69,949	75,000
			市町村立図書館等の運営相談件数	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い運営相談の顕著な増加があったことから、上記の貸出冊数に加えて、複数の指標により活動状況を測ることとした。 なお、令和2年度の相談件数は108件であった。	230	120
2	図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	研修会の受講者数	研修受講者の満足度については、令和2年度は満足度94.5%を記録としたことでR3-5の目標としていた。令和4年度は93.0%を記録し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、オンラインによる遠隔研修を実施し、全体的な受講が可能になったことが、満足度向上の一因になったものと考えられる。ただ、向上心の強い参加者がより詳しい内容を期待して満足度を低く回答する例などもあり、全ての参加者が満足するのは難しいところである。オンラインによる遠隔研修を併用するなど、今後も受講しやすい研修方法を提供し、県内図書館職員が必要な研修を受講できるようにすることで、研修センター機能の強化を図ることができると考え、のべ受講者数を増やすことを目標と設定した。	744	780
3	子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	子どもの読書活動推進センターページアクセス数	教育委員会や図書館、関係機関・団体、関係者等の連携の拠点(センター)として、「子どもの読書活動推進センター」というプロジェクトチームを設置し、子どもの読書活動の推進を行っている。多文化サービスや不読率の問題に取り組む上で、センターの情報発信の効果を測るため、センターのページのアクセス数を指標とした。目標値の1000回は過去3年間の平均値の約5%増とした。	953	1,000
			貸出利用があった県立学校等の割合	学校での読書活動や探究学習において、電子書籍やインターネット等を活用する利用形態に変化していることも鑑み、貸出冊数を目標とするのではなく、学校図書館の現状に即した支援を強化してまいりたい。具体的には、実態調査、運営相談等によるニーズの把握や、未登録校への広報活動、学校貸出セットの充実などに取り組んでいく。	41.2%	50.0%
		(2) 学校図書館への支援の強化	学校貸出セットの貸出回数	新学習指導要領への対応や、学校の要望や需要の多いテーマの充実を図っていくために、図書館側の行動目標としての学校貸出セットの新規整備・改訂数よりも、学校側の行動からの目標値の方がより学校の要望や需要に過っているか把握できるがよいと考えたため。	221	260
4	課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」ページ閲覧数	パスファインダーは主体的に資料、情報を収集する時の道しるべとなり、課題解決能力の向上が図られるツールである。また、資料への興味関心を深めたり、広げたりするなどの効果も期待できる。これらのレファレンスツールの利用状況を測るため、ページ閲覧数の合計を指標とした。目標値の57,021回は、過去3年間の「各項目の3年間」平均の合計の約3%増とした。	50,547	57,000
5	千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県に関する情報発信件数	千葉県立図書館では、千葉県に関する資料を網羅的に収集、整理し、利用者へ提供するとともに、千葉県に関する調査相談を全国から受けている。また、県内の図書館職員を対象とした研修会も実施している。このような業務の中で担当者が身に付けている技術を活かし、基本的な資料のリストやテーマ別資料リスト、調べ方案内(パスファインダー)、調査事例を作成し一般に公開している。インターネットで公開することで、利用者は来館せずに千葉県について調査する方法を知ることができ、同じ資料を持つ最寄りの図書館での調査が可能となる。今期の3年間を通じて概ね達成できる見通しであることから、実績を踏まえ5件増とした。	44	45
			菜の花ライブラリーアクセス数	県民の活用状況を目標とするため、新たな指標として設定した。「詳細画面」へのアクセス数をカウントする。令和元年度から3年度の伸び率が平均で年3.7%であったことから、それを上回る4%を目標とした。	81,786	前年度比4%増
6	知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	連携事業の実施回数	博物館、文書館、さわやからば県民プラザ等の社会教育施設が連携することで、県民へのより幅広いサービスを行う。各施設が実施している資料提供、調査相談、読書案内、資料展示、講演会等を組み合わせることで、より多様な情報を提供できる。また、お互いに広報することで、多くの県民へのアプローチができる。医療施設や専門的な団体などへのイベントの講師依頼も、相互理解への端緒となっている。 今期3年間を通じて目標値15件を達成する見通しであることから、実績を踏まえ1.5倍とした。	18	23
			連携イベント参加者数	県民の活用状況を目標とするため、新たな指標として設定した。連携先の都合により100人規模のイベントの休止が見込まれていることから、当該イベントを除いた実績を元に、7%増を目標とした。	438	350
		(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	国立国会図書館提供データダウンロード数	県立図書館では、「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス」に製作した録音図書等のデータを提供している。これまでコンテンツの作成件数を指標としていたが、作成されたコンテンツが実際にどれくらい利用されているかわかるダウンロード数を指標とした。目標値の5,500件は、過去3年間の平均の約2%増である。R4年度の数値はR3年度にアップできなかったものをアップしたため、件数が増えている。	6,155	5,500
(3) 情報発信機能の強化	ツイッターのフォロワー数	情報発信機能の強化において、迅速かつ柔軟な情報発信が可能なツイッターは引き続き有効なツールと考える。他方、評価指標については、施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標(アウトカム指標)とすることが適切と考え、これまでの発信件数からフォロワー数へ見直しを図った。 過去3年度の平均は227件であり、目標値として1割増の250件とした。	前年度+213	前年度+250		

令和4年11月22日

## 千葉県立図書館サービス計画（仮称）について

### 趣 旨

「千葉県立図書館基本構想」の実現に向け、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に示す事業計画として、現在、「千葉県立図書館行動計画」を公表しているところであるが、新館設置以降は「千葉県立図書館サービス計画（仮称）」とし、県立図書館事業に関する基本的な方針・施策を定め、引き続き公表していく。

○図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文科科学省告示第172号）

#### 第二 公立図書館

##### 一 市町村立図書館

##### 1 管理運営

##### （一）基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

##### 二 都道府県立図書館

##### 6 準用

第二の一に定める市町村立図書館に係る基準は、都道府県立図書館に準用する。

### 経 緯

平成30年	1月	「千葉県立図書館基本構想」策定
平成30年	9月	「千葉県立図書館行動計画（平成30～32年度）」策定(第1次)
令和元年	8月	「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」策定
令和3年	7月	「千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）」策定(第2次)
令和3年	8月	「新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画」策定
令和4年	10月～	「千葉県立図書館サービス計画（仮称）」検討開始
新館設置以降～		「千葉県立図書館サービス計画（仮称）」策定(予定)

### スケジュール

年 度	令和3	4	5	6	7	8	※	新館設置以降	
行 動 計 画	→			第2次行動計画（3年）					
				→			第3次行動計画（3年）		
サ-ビス計画			サ-ビス計画（仮称）（6年）				→		

※千葉県立図書館サービス計画（仮称）は、新館設置以降、運用していく。

## 計画概要

### 1 計画の位置付け等

#### (1) 計画の位置付け

本計画は、「千葉県立図書館基本構想」の目指す姿を「新千葉県立図書館・県文書館複合施設」において実現するため、「千葉県立図書館行動計画」での取組と課題、DX化の進展など社会状況の変化を踏まえて策定する。

なお、現行「千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）」は別途「千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）」として更新する。

#### (2) 計画期間 新館設置以降6年間

#### (3) 計画の策定及び公表

図書館協議会にて計画の策定並びに毎年の事業結果及び事業計画についての承認を得るとともに、計画最終年度には達成状況の自己点検及び第三者評価を公表する。

### 2 県立図書館の現状と課題

#### (1) 県内図書館の中核としての役割

- ・図書館を設置し、図書館サービスを実施する自治体：県立及び39/54市町村（R3年度）  
市町村等図書館利用者登録率（R1～3）31.5→31.4→29.1%
- ・図書館協力車による全自治体への週1回搬送（千葉県公共図書館協会加盟館間相互貸借）  
県立蔵書貸出冊数（R1～3）93,436→81,737→91,990冊  
市町村等蔵書貸出冊数（R1～3）97,043→85,479→110,137冊  
協力レファレンス（R1～3）2,723→1,947→1,259件
- ・全市町村への訪問及び運営相談を電話、メール等で随時実施。相談件数（R2～3）：108→188
- ・市町村図書館職員等の研修会を実施。回数及び延べ参加人数、満足度  
（R1～3）20回/598人/90.6%→23回/490人/94.5%→24回/653人/90.0%

#### (2) 子どもの読書活動の推進

- ・読み聞かせ講座や蔵書検索の方法等について、県立中・高校等へ講師を派遣。（R3）延べ9回
- ・県内公共図書館員向けに、YA（ティーンズ）サービスに係る研修及び県内3市の事例発表実施（R3）
- ・図書館未設置市町村の公民館図書室等読書施設に対し、教科書単元・テーマ別リスト、小・中学校教科指導で使える資料リスト（「千葉県の民話」「千葉県にゆかりのある人物」）等の配付により利用促進を図っている。（R3小・中学校への貸出917冊）
- ・市町村立図書館等を経由した小中学校との連携について、課題を検討中（貸出期間の不足等）

#### (3) 課題解決支援図書館

- ・各館の重点収集分野により、法情報、医療・健康情報、高齢者、子育て等の対象別に、コーナーを設置し、県民向け講座を実施。また、令和元年度に商用データベース13種を追加（計28種）  
課題解決支援講座（R1～3）6回119人→4回44人→3回28人
- ・県庁各課への情報提供サービス（貸出、協力レファレンス）（R1～3）  
県庁への貸出 877(49) →1,425(148)→2,190(230)冊（うち出先機関への郵送）  
協力レファレンス 136→129→178件
- ・調査相談件数（メールレファレンス件数）（R1～3）1,050件→590件→800件

#### (4) 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- ・千葉県関係の情報検索ツール（国立国会図書館レファレンス協同データベースへの事例登録、調べ方案内（パスファインダー）、テーマ別リスト等）の作成件数（R1～3）計43→39→39件
- ・千葉日報新聞記事索引、歴史関係雑誌記事索引の入力等
- ・千葉県関係資料WEB情報の印刷受入れ数 H30～R3年度計490冊

## (5) すべての県民が利用しやすいサービス

- ・ 県立図書館ホームページアクセス数 (R1~3) 327,987→351,445→361,949  
同 WEB 予約 (個人) (R1~3) 19,299→23,981→28,067 点・冊
- ・ 郵送による複写に加え、郵送による貸出 (H30~)、郵送による利用者登録 (R3~) を実施  
(R1~3) 貸出 15 件 34 冊→133 件 354 冊→34 件 38 冊。利用者登録 R3~33 件
- ・ 対面朗読実施自治体数 (H30~R2) 県及び 16/54→15/54→15/54 市町村
- ・ 録音図書の貸出 (県立図書館) (R1~3) 12,739→11,449→11,445 点  
(県全体) 38,147→36,491→37,824 点
- ・ 障害者サービス研修会 (図書館職員向け) の実施 (R1~3) 2 回 54 人→2 回 44 人→2 回 49 人
- ・ 高齢者等への大活字図書の貸出 (県立) (R1~3) 2,094→2,146→2,950 冊  
(県全体) 86,310→87,802→89,309 冊
- ・ 障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数 (R2~3) 32→28

## (6) 機能の重なりから生まれるもの

- ・ 博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携した展示、講座等の実施回数  
(R1~3) 25 回→13 回→16 回

### 3 施策の方向性と取組

#### 第1 県内図書館の中核としての役割の強化

##### (1) 県内全域の文化情報資源活用のための支援

- ・ レファレンスサービスの質の向上 【県立図書館の専門機能の強化】
- ◎相互協力による資料提供の迅速化 【物流ネットワークの強化】
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスへの参加促進 【情報ネットワークの強化】
- ◎全市町村への図書館等運営相談、図書館運営にかかる情報発信 【地域に密着した支援】
- ・ 市町村立図書館等職員同士の情報共有の推進 (研修会や会議、県内図書館職員向けサイト等)  
【人的ネットワークの強化】
- ◎資料の巡回展示の推進 【小規模図書館や図書館未設置市町村の読書施設に対する支援】

##### (2) 図書館職員の研修センター

- ◎オンライン遠隔研修、研修内容のアーカイブ化 【市町村立図書館等職員に対する研修】
- ◎遠隔研修コンテンツの作成 【県立図書館の専門機能の強化】
- ・ 職員交流・研修派遣の実施 【職員の交流及び研修による資質向上】

##### (3) 県内図書館ネットワークの拠点

- ◎相互貸借や連携事業の実施、大学図書館との連携 【県内図書館ネットワークの拠点】
- ・ 県内最後の 1 冊保存体制の整備 【県内図書館ネットワークの拠点】

#### 第2 子どもの読書活動推進センター

##### (1) 子どもの読書活動の推進拠点

- ◎市町村立図書館等児童サービス担当職員の養成 【子どもの読書活動を支える人づくり】
- ◎読み聞かせ講座講師の養成 【子どもの読書活動を支える人づくり】
- ◎児童書選定支援用資料の収集 【児童書選定支援】
- ・ 児童資料研究支援 【児童資料研究支援コーナー】
- ・ 子育てに関する専門家との連携 【子育て支援コーナー】
- ・ 視覚障害者向けサービスの提供 (児童) 【図書館利用の困難な子どもや保護者への支援】
- ・ その他障害者向けサービスの研究・提供 【図書館利用の困難な子どもや保護者への支援】
- ◎多文化サービスの提供 (児童) 【図書館利用の困難な子どもや保護者への支援】
- ◎YA サービス担当者のネットワーク構築、モデル事業、SNS を活用した広報 【先進的なサービスの開発】
- ・ 子どもたち自身が参加活動するイベント等のモデル実施 【先進的なサービスの開発】



## (2) 学校図書館の支援

- ◎学校向け情報の提供、県立学校等への運営相談 【県立学校等への支援】
- ◎「学校用セット」等の活用 【県立学校等への支援】
- ・市町村立図書館等と小中学校との連携への支援 【小・中学校等への支援】
- ・特別支援学校等への読書支援の充実 【特別支援学校等への支援】
- ・探究学習支援についての利用支援方法の検討 【市町村立図書館等への支援】
- ・学校図書館関係者向け研修、公立図書館の交流会【学校と公立図書館等の連携・交流促進】

## 第3 課題解決支援図書館

### (1) 調査研究や政策形成の支援

- ◎主題別班編成の採用による各主題に精通した司書の育成、県内機関との連携強化 【県民・県内企業・団体への調査研究支援】
- ・県庁各課等への情報提供、政策・イベントのPR展示 【行政職員への政策形成の支援】
- ・県政の重要課題の把握と県議会図書室との連携 【県議会議員の調査研究の支援】

### (2) 調査研究に役立つ資料の収集と情報の提供

- ◎主題別班編成による蔵書構築 【専門的な資料・情報の集積と提供のできる体制づくり】
- ・データベース活用講座の実施 【様々な分野のオンラインデータベースの整備】
- ・特定主題や時事問題、地域の課題等県民が関心を持つテーマに関する情報提供サービス 【県民による資料・情報収集とその活用への支援】
- ◎電子書籍サービスの導入 【専門的な資料・情報の集積と提供のできる体制づくり】

## 第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

### (1) 千葉県関係資料の計画的な収集体制の整備

- ◎媒体に関わらない千葉県ならではのコレクション形成 【県文書館との連携及び網羅的収集】

### (2) 千葉県関係資料の提供

- ◎県内の蔵書や県内文化情報資源を一括して検索できる情報基盤システムの整備
- ◎ジャパンサーチ等、国や他の機関の整備するプラットフォームとの連携 【千葉県関係資料・情報のプラットフォームの構築】
- ◎情報・コンテンツの活用方法の例示 【デジタルデータの公開】

### (3) 千葉県関係資料の保存・継承

- ◎紙資料の媒体変換（マイクロフィルム化・デジタル化） 【デジタルデータの公開】
- ・千葉県ゆかりの人物に関するデジタルデータの保存 【デジタルデータの保存】
- ・千葉県ゆかりの作家や本県を舞台とした作品の保存 【貴重資料の保存】

### (4) 千葉県関係資料の活用

- ◎ 県・市町村発行パンフレット類等の提供、菜の花ライブラリー活用講座の開催、企画展示等の実施 【千葉県情報案内コーナー】
- ◎ レファレンス事例、新聞雑誌記事索引、人名索引、調べ方案内（パスファインダー）、テーマ別リスト、目次情報等、情報検索ツールの充実 【書誌・索引類の作成】

## 第5 すべての県民が利用しやすいサービス

### (1) 非来館型サービスの充実

◎利用登録や資料の取り寄せの手続きをインターネットから行える仕組みの構築

【手続きのオンライン化の検討】

◎各種講座、研修会のオンライン開催

### (2) 図書館利用や読書活動に困難のある人へのサービスの充実

◎録音図書の貸出し・製作、活字資料のテキストデータ化

・対面朗読、遠隔対面朗読の実施

◎図書館音訳者の養成

・障害や発達段階に応じて遊べるおもちゃや福祉機器に直接触れられる機会の提供

### (3) 超高齢社会に対応するサービスの研究

・高齢者の「生涯現役社会」につながる情報提供コーナーの設置や講座の開催

・加齢や認知症に伴い図書館利用や読書活動に困難を生じても安心して利用できるサービス

・認知機能や身体機能の低下について理解を深める研修や講座の実施

### (4) 多文化共生意識の醸成につながるサービスの研究

・外国語資料や日本語学習に関する資料の収集 【日本語を母語としない県民への支援】

・多様な文化に関する資料の収集、外国語のおはなし会など交流機会創出の検討

【日本語を母語としない県民への支援】

## 第6 機能の重なりから生まれるもの

### (1) 知的交流の場の提供

・文化情報資源の編集・提供など利用者による編集・加工・発信機能のための作業室の検討

・目標を設定して実践的な知識や技能の習得を目指すような集会事業の検討

【知の創造と循環を生み出す公共の場】